

公表日 令和7年 11月 6日

事業所名 こばんはうすさくら 四日市富田教室

保護者等数(児童数) 28名 回収数 17件(割合〇%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	1			以前のスペースの方が、広く開放的だと思いました	現在、広いスペースを、フレイルームとして、運動プログラムや自由遊びなど、沢山の利用者が活動するスペースとして利用しています。別の部屋は個別又は少人数でのプログラムの部屋として使用しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15			2		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17					
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17				毎回、様々な専門職の方がおり、色々な視点で支援してくださってると思います。	現在、保育士、児童指導員、理学療法士、精神福祉士、教師など、様々な資格者が在籍しております。色々な視点での意見なども聞けて、とても充実していると感じます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16			1		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16			1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。		1		1	特に希望はないので、今まで大丈夫です。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17					
保護者への説明等	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	3		7	機会があれば参加したい。	ぜひ、開催できるように検討したいと思います。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	1		1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	2		9	機会があれば参加したい。	ぜひ、開催に向けて検討したいと思います。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17					

保護者への説明等	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されているだと思いますか。	17				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13		4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13		4		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15		2		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	17				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	17				
	29	事業所の支援に満足していますか。	17				

## 公表

## 児童発達支援事業所における自己評価結果

公表日

令和7年 11月 6日

事業所名

こばんはうすさくら 四日市富田教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境 ・ 体 制 整 備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	はい		広い部屋を、運動プログラムや自由遊びのスペースとして使用しております。もう一つの部屋を個別や小人数でのプログラムとして使用しているので、効率的には良いと感じています。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	はい		お子様の安全面の配慮として、最低人員以上にと務めております。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	はい		安全面を優先的に、ロッカーや椅子に名前と共に顔写真をつけたりして、わかりやすくしております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	はい		常にきれいに保てるよう努めています。利用者にも、自分たちが過ごして空間を綺麗に保つ為に、清掃の時間も設けております。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	はい		大きな音が苦手な利用者や、デンションが上がりすぎたときの場合に、別室でクールダウンできるスペースを設けています。	
業務 改 善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	はい		個別支援計画のもとづいた内容で、利用者と支援員で、毎回の利用の度に、目標の確認を行っています。そして、1~2か月おきには、職員間で振り返りを行い、ご家族あてに、お渡しさせていただいております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		いいえ		まだ、こちらは行なうことが出来ていません。今回のこの評価を、業務改善につなげたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		いいえ		まだ、こちらは行なうことが出来ていません。今回のこの評価を、業務改善につなげたいと思います。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	はい		第3者評価になるかどうかわかりませんが、こばんはうすさくらの本部職員による評価は、定期的にあり、確認作業を行っていただいています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内などで研修を開催する機会が確保されているか。	はい		ほぼ、毎月くらい、利用者の少ない午前中などで、所内研修やケア会議、委員会などを行っています。	
適切 な 支 援 の 提 供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	はい		5領域に応じた、オリジナルのプログラムを、毎月行なって、スケジュール表は作成しています。	
	12	個々の子どもに対してアクセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	はい		ご家族様の困り事や、ご要望に応じた目標を立てて、計画書作成に取り組んでいます。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	はい		個々のカンファレンスを行い、支援員の意見を反映させて、計画書を作成しております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	はい		各利用者の目標シートに目標と支援計画が明記されていますので、毎日支援員は確認できる状況です。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	はい		プログラムの一環として、生活活動などの指標となる独自の物を利用する時もあります。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		いいえ		家族支援、移行支援、地域支援・地域連携においては、より具体的にしていかないと始めたばかりです。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	はい		職員がチームで、5領域について話し合いを行って、日々のプログラムを考案しております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	はい		毎日によっては、参考していない利用者が違うため、違う曜日に繰り返し行ったり、グレードアップして、リベンジする場合もあります。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	はい		プログラムの内容によっては、個別でした方がよい場合と、集団でやつた方が効果的な場合とありますので、必然的に適時組み合わせています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	はい		朝礼で、プログラム担当者より、説明があり、他の職員に共有を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	はい		チームでの振り返りは行われています。終礼時に全体共有や振り返りを行っている場合もあります。	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	はい		終礼時に、職員全員で、共有を行い、記録に残しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	はい		定期的に、家族の方にお越し頂き、個別支援計画のモニタリングと次期計画の目標の設定を行っています。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	はい		児童発達管理責任者が出席しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		いいえ		まだ、連携できている機関と、連携できていない機関がありますので、これからの課題です。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		いいえ		まだ、連携できている機関と、連携できていない機関がありますので、これからの課題です。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		いいえ		まだ、連携できている機関と、連携できていない機関がありますので、これからの課題です。
関係機関や保護者との連携	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		いいえ		まだ、相談支援的には共有を行っている程度です。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		いいえ		時々、児童館に遊びに来ている方との交流程度です。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	はい		自宅へ送迎時に、ご家族様とお会いすることがありますので、適時 共有を行っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		いいえ		まだ、取り組みを行うことが出来ていません。機会があれば、取り組みたいです。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	はい		契約時に説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	はい		6ヶ月ごとや、目標設定の変更の際に、ご家族様の意向やご本人様の状況を改めてアセスメント行いまして、評価・立案に努めています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	はい		計画書に基づいて、説明を行いまして、同意を頂いています。	
保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	はい		モニタリングの節や、見学、送迎時など、必要に応じて行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		いいえ		まだ、開催することが出来ていません。出来れば、開催したいと思っています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	はい		申し入れがあった場合は、適時対応を行っています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		いいえ		定期的な対応が、まだできていません。適時、必要な時期には、SNS等を通じて連絡を行っています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	はい		細心の注意を払って行っています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	はい		何度も伺つたり、1:1の対応により、意思の疎通に心がけております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		いいえ		まだ、行えていません。機会があれば、行いたいと思います。

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	はい		マニュアルは作成済である。職員には、委員会の節に、読み合わせを行っているが、家族等への周知がまだでていない。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	はい		策定は出来ているが、まだ見直しが行えていない。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	はい		初回アセスメントやモニタリングの節に、毎回確認を行っています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		いいえ		今のところ、医師の指示書まで必要なほどのアレルギーの利用者はいらっしゃらない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	はい		計画は策定済。都度、安全管理に気を付けて、支援は行いたい。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		いいえ		マニュアルは作成済であるが、まだ、家族への周知は出来ていない。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	はい		ヒヤリハットがあった場合、終礼での共有と共に、ケア会議などで再度確認を行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	はい		職員研修や委員会などで、確認、研修を行っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		いいえ	現在対象者はいません。	

## 参考様式A1(自己評価等関係)

従業者向け	児童発達支援評価表
-------	-----------

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	プログラムの部屋と、プレールームと分けて使用していますので、適切な広さだと思います。 12人以上いる日は、教室が狭く感じる。 児童、放ディとで分けたり、時間を分けながら出来ている。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		基本的には足りているが、休みの職員が多い日は足りていないようを感じる。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		環境設定には気を付けて行っている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2	床の水拭きを定期的に行いたい。 食事時に床が汚れてしまうため、濡れた雑巾で、しっかり拭いている。 定期的に清掃を行っている。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		広い空間で遊ばせている。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		目標シートを活用している。 コミュニケーションは、しっかりとれているように感じる。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		今回の利用者の評価が参考になり、改善につなげたい。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	最近、定例会がない。 いつでも話せる機会がある。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	行われているかわからない。 まだ、第三者評価は受けていない。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		定期的に、研修は受けて頂いている。
支援計画	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		日々のプログラムが分かりやすく提示してある。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		たまに施設内で可能でないことが含まれる為、困る。 (例、夕方から利用なのに、お昼寝に関することがある)
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		様々な視点から相談、検討が行われている。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		ピンポイントでしか来ない人にも、しっかり伝達して頂いている。

適切な支援の提供	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	目標シートや終礼で行われている。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		利用者が曜日固定で利用されるので、まんべんなく五領域の支援が受けられるようには工夫している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	個人である時とペアである時がある。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	曜日別でプログラムを行っているため固定化されがち。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		目標や必要に応じて個別支援を行っている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		朝礼で行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		終礼で行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		HUGで行っている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		目標シートで行っている。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		よくわからない。 今後、自身も参加していきます。
関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	よくわからない。 保健、医療関係のつながりが薄いため、意識したいです。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		保育園や幼稚園の訪問を行っている。 少しづつ始めたので、今後とも積極的に行っていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	よくわからない。 来季、特別支援学校に移行される方が見えるので、情報共有が行えたなら良いと思う。
	28	(28~30は、センターのみ回答)			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			

31	(31は、事業所のみ回答)			よくわからない。 私、自身の業務外であるため、わからない。
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパー・バイトや助言等を受ける機会を設けているか。	4		
	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	児童館にお出かけする。 わかりません。
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		少ないとも感じる。 送迎時や見学、モニタリングの節に、情報共有しています。
	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	まだ、実施できていない。
	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		わからない。 契約時に説明を行っています。
	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		アセスメントで行っている。
	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		初回利用日や以前に、対面にて説明、同意を得ています。
	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		見学などで行っている。
	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4	まだ、実施できていない。
	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		わからない。 申し入れがあれば、即時に対応している。
	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1	わからない。 月間スケジュールは、毎月発行している。
	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		シユレッダーをかけるなど。
	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		システムに、一日の様子を入力していく、ご家族様が確認できるようにしている。
	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	長期休みには、外部から講師を招いたり、消防署へ行ったりしている。 今後考えていく。
32	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		家族に周知しているかまでは、わからない。
	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	2	私が働き始めたから、避難訓練していない。
	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	1	アセスメントやモニタリングで行っている。

非常時等の対応	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	指示書は見たことがない。 医師から指示を受けている利用者はいない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	委員会関係を充実させ、対応できるようにしていきたい。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2	わからない。 まだ、家族への周知取り組みまで行えてないので、これから検討します。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		朝礼や終礼で報告している。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		初回研修であった。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	4	基本的に身体拘束は行っていない。